

武庫北小だより

学校通信 令和5年3月 特集号

校長 武市 俊彦（学校評価）

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む【主な取組】

- (1) ねらいを明確にした短時間学習・放課後学習の取組
- (2) 個別支援計画・指導計画に基づく自立活動の充実
- (3) 安全・安心な給食の提供
- (4) 授業を支える体育用具等の環境整備
リズムジャンプ・スポーツテストの充実
- (5) スクールGIGA構想に基づく機器の活用



成果と課題など

〈成果〉	〈課題と改善〉
・落ち着いた姿(学びに向かう姿)	・カリキュラムマネジメントへの取組
・めあて一振り返りの定着	総合的な学習:カリキュラム改善へ
・授業改善への意識の向上	・学びの系統性 学びの積み上げへの対策
・短時間学習のメリハリのある実施	武庫北型系統性の作成へ
・丁寧で計画的な放課後学習	・ICTの充実
・特別支援教育の充実(UD・SST)	スタディサプリの効果的な活用
・個に応じた自立活動の推進	プログラム学習
・アレルギー事案等への危機意識の向上	ICT支援員の資質意欲の向上
・安全安心な給食の提供	(ICT推進課との連携強化)
・スポーツ指導員の積極的活用	
・ICT推進部を中心とした取組の共通理解	

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る【主な取組】

- (1) 地域とともに一挨拶運動
- (2) 道徳教育の充実 特性に応じた対応
- (3) いじめ認知を中心とした児童の関係改善
(通常学級でのSST 特別活動の充実)
- (4) キャリアノート、パスポートの実施
- (5) 不登校 不登校傾向児の情報共有
管理職・関係機関の積極的な関与



成果と課題など

〈成果〉	〈課題と改善〉
・地域協働本部の推進力の強化	・ボランティアを増やしていく方策
「朝活」などの新たな取組 授業支援の増加	→地域と育友会への情報発信
ムコキタサポーターズの立ち上げ	→地域協働本部と教職員の
(ボランティア 長期に渡る人材発掘)	つながり強化
・特別支援教育部、交流担任会等による児童理解と特性に応じた支援の検討、共通理解-研修会の積極的な実施	・家庭のしんどさへの寄り添い、支援
・イクシアや北部保健福祉センターとの連携	→保護者への情報提供
・保護者との積極的な面談の計画	・キャリア教育の推進
(担任・管理職－保護者)	→特別活動部:積極的な提案
・教育支援員、SCの活用 情報交換	

3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む【主な取組】

- (1) 授業改善の意識づけ ー研究の充実
 - ・管理職の積極的な授業観察
 - よいところ見つけ
 - 指導案への助言 授業後の助言
 - ・元校長による授業改善指導
 - ・市教委学校訪問を生かす取組
- (2) 地域協働本部の活動を核とした活性化
 - ・プロジェクト会議の継続
 - ・地域とのつながり強化【地域福祉会議】
 - ・コミュニティスクールを見据えた計画的取組



成果と課題など

〈成果〉	〈課題と改善〉
・指導助言を受けようとする教員の増加	・他府県、他市の研究会への積極的な参加
→学びプロジェクトからの情報発信を	
→ 授業改善、教師力向上への積極性	
・訪問をよりよい機会として、自らの課題を見つめたり、課題解決への挑戦に。	
・地域・育友会による授業支援 (昔遊び、裁縫支援等)	・地域の高齢化
	→ムコキタサポーターズ
	(活動の活性化と充実)
	・教職員への地域の協力
	→管理職以外の教職員による連携強化
	(教務主任の積極的な関与)
・地域の様々なセクションとの会合 (プロジェクト会議等)	
→コミュニティスクールへの方向性の検討	
→外部人材の活用 (大阪府学校評議員等)	



4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る【主な取組】

- (1) 緊急事態対応
保護者引き渡し、地区別、学年別
- 非常変災に応じた対応方法の整理
- 地区別懇談会の実施



- 安全点検を設備環境整備に生かす
(クラック、天井の傷み等への対応)
- (2) 1. 17における防災教育参観の計画

成果と課題など

〈成果〉	〈課題と改善〉
・緊急事態対応についての共通理解	・地区懇談会の充実
・コロナ禍で実施を見合わせていた地区別懇談会の実施(代表者による実施)	→地区での困り感の共有改善へ
・避難訓練の課題 反省点を生かした次回の計画(反省を改善に生かす取組)	・地域の交通安全(自転車のマナー等)
・全学級での防災教育実施	→地域の大人・子どもを対象にした交通安全教室の実施の準備へ
	・地域を巻き込んだ避難訓練の計画
	→ 1.17 地域会場としての実施への意識
	→ 地域住民 ・保育所等との連携
	→ 自分の命は自分で守る
	【防災教育の充実】

教育目標【主な取組】

- (1) 教育目標と学年目標
学年・学級目標一振り返り (学期ごと)
- 求める姿とふりかえりによる改善



- ・見える化による意識づけ

- (2) グランドデザインの改善
子どもを育てる視点(展望)等、
- 学校評価 項目に入れ込む



- 地域との連携→授業支援→指導の充実
- 【武庫北っ子の良さを知ってもらおう】
- 【地域の良さを感じよう】

成果と課題など

〈成果〉	〈課題と改善〉
・学期ごとの目標の明確化	・児童への意識づけの工夫
・児童自らの成長の確認ー自尊感情高揚	→教職員による実践共有
・生徒指導との連動	・実践の高まりを意図した計画
・ボトムアップ感覚を重視した目標設定へ	→特別活動 児童会の実践と
・教職員の児童の高めたい部分、信じた可能性などを共通理解することができた	キャリア教育をつなげる
・わかりやすい言葉にしていく。(本質の追求)	・学級経営力を高める取組
・カリキュラム改善への意識につながる	

研究テーマ【主な取組】

- (1) 豊かな心をもち、自ら進んで学び合う子をめざして
～自分の思いや考えを表現し、深める活動をととして ～ のもと、研究推進を行う
 - ・研究授業をつなぎ高める研究へ
 - (テーマ、取組を明確にすることにより、学年団での交流を活発に他学年の研究へのプラスの効果を高める)
- (2) 研究授業をいかした授業改善
教材分析 ルーブリック評価の活用
学年団の協力・連携



成果と課題など

〈成果〉	〈課題と改善〉
・教職員の共通理解を大切にしながら実践を進めることで、サブテーマへの理解、研究への取組に対しての理解が深まった。	・求める授業の姿(イメージ)の共有化
・講師から丁寧で示唆に富んだ研修を受けることができた	・授業改善につながるより具体的な指導へ
・教職員が切磋琢磨し、指導力の向上や児童の成長を求める姿が多く見られた。	・武庫北型系統表の作成
・教材研究・教材分析への意識が強まり、よりよい授業を求める挑戦が見られた。	・ふりかえりの書き方について
	→共通理解をすすめる
	→児童の自己評価力を高める

【学校関係者評価】

☆「めあて一振り返り」の定着、短時間学習のメリハリある実施が非常に良い。

☆授業の様子から全体に落ち着きがあり、子どもたちの学ぶ姿に驚いた。

☆実際に多くの教室を見て回ったが子どもたちが意欲的に学習に取り組んでいてすばらしかった。

☆「プログラム学習への準備不足」については改善を望みたい。

☆挨拶活動を通して黙って通り過ぎていた子が少しずつ目を見て挨拶を返してくれるように増えていると思う。嬉しい限りだ。

☆低学年の時から先生、地域、保護者がしっかりと関わることで高学年・中学生になった時に周りに相談しやすい環境になると思う。

☆「ムコキタサポーターズ」の立ち上げは学校と地域のつながりに大きく寄与すると思われる。拡充が今後の課題。

☆教師の思いを組み入れた学校経営を校長が行っている。そのため教師がかかる声かけがとても優しく、一人一人の子どもを大切にしており、子どもの心の安定が見受けられる。

☆コーディネーターが非常に熱心でアンテナを張っていて、意見を求め積極的な活動をしてきている。もっと要望を出して頂いて出来ることはどんどん進めていけばと思う。コミュニティスクールに向けて地域との連携は順調に進んでいる。

☆教職員の地域連携への意識の醸成はこれからの課題。

☆防災安全についての訓練や教育を進めており、防災意識を高めていると思う。自転車マナーは実感として悪いと思っているので要改善。

☆コロナ禍であったが、子どもたちへの安全教育の徹底が行われているように思う。教職員による緊急対応時の共通理解もできてるようだ。今後は地域の人たちを巻き込んだ防災教育が行われることを期待している。

☆目標の明確化や自尊感情の高揚は良い点だと思う。

☆個性を理解しその子に向き合う姿勢が素晴らしい。

☆教職員とともに教育目標の求める姿を考え、「やさしい子」「まなぶ子」「つながる子」をかかげ、教職員や子どもたちにとって分かりやすく具現化した目標にしたため、子どもたちにも浸透しているように思う。

☆先生同士で意見を交換したり講師を招いての研修を行ったりと素晴らしい取組をしていると感心した。教職員が切磋琢磨していることが嬉しい成果である。求める授業の姿をよりわかりやすくして、教職員が共有化していくことと、教職員がより切磋琢磨していくことが子どもたちの学力向上につながると思う。